



一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

静臨技ニュース

第 433 号

発行所／(一社)静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川 1-1-15 ヴィラセーユー稲川 207

TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113

発行者／羽切 政仁 編集責任者／高橋 詩帆 発行日／2026年4月1日

4月号の内容



- ◆ 静臨技ホームページリニューアルについて P1-3
- ◆ 肝炎総合対策の推進について P4
- ◆ スタートアップ研修会開催報告 P5
- ◆ 会員投稿 P6
- ◆ 臨床検査関連研修会 P7-13
- ◆ 行事予定 P14

静臨技ホームページリニューアルについて

**2026年4月1日より静臨技ホームページを
リニューアルしました。**

会員の皆さまに静臨技の活動をわかりやすくお伝えし、多くの情報を提供できるように運営に努めてまいります。



URL : <https://www.samt.or.jp/>

トップページです。「行事カレンダー」が新たな機能になります。研修会開催日の確認や参加登録が簡単になりました。

一般社団法人
静岡県臨床衛生検査技師会 お知らせ

行事カレンダー 会員の皆様へ 静臨技の活動報告 静臨技について 求人情報

第13回静岡県医学検査学会

「学びを力に、力を自信に！」

2026年6月13日(土) 13:00～
あざれあ大ホール



会員の皆様へのお知らせ

2026.03.22

【組織部より】2026年研究助成のご案内について（黒住医学研究振興財団）のお知らせ

2026.03.16

令和8年度 第1回 臨床血液部門ハイブリッド型研修会の開催案内を掲載します。

2026.03.16

令和8年度 第1回 輸血細胞治療部門Web型研修会の開催案内を掲載します。

一般の皆さまへのお知らせ

現在、お知らせはありません。

会員の皆様へ

各種申請書ダウンロード >

静岡県精度管理事業 >

静臨技の活動報告

静臨技ニュース >

会議議事録 >

予算報告 >

静臨技について

会長挨拶 >

組織の概要 >

求人情報

求人一覧 >

求人掲載依頼 >

一般社団法人
日本臨床衛生検査技師会

一般社団法人
日本臨床検査技師会

一般社団法人
いぎサポ

創立70周年
70th Anniversary

65周年
65th Anniversary

一般社団法人
日本臨床検査技師会

一般社団法人
いぎサポ

Pipette
一般社団法人
臨床検査技師会

臨床検査技師になりたい方へ 関連団体 賛助会員について お問い合わせ

静岡県臨床衛生検査技師会 事務局・お問い合わせ先

静岡県静岡市駿河区稲川11-1-15-207

TEL : 054-287-6337 FAX : 054-287-4113

E-mail : samtjim@samt.or.jp

© 静岡県臨床衛生検査技師会. All rights reserved.

Calendar

行事カレンダー

ホーム - 行事カレンダー

< > 今日 今後のイベント

5月 2026

土
9

5月9日 @ 1:30 PM - 4:00 PM

令和8年度 第1回 輸血細胞治療部門Web型研修会

■テーマ 令和8年度 第1回 輸血細胞治療部門Web型研修会 ■日時 2026年5月9日(土) 13時30分 ~ 16時00分 ■会場 Web会場 (Cisco Webex) ■内容 詳細はこちらをクリックし [...]



土
23

5月23日 @ 2:00 PM - 5:00 PM

令和8年度 第1回 臨床血液部門ハイブリッド型研修会

静岡県産業経済会館 突区通字町 44-1 静岡市 静岡県 Japan

■テーマ 血液検査の基礎を学ぼう ■日時 2026年5月23日(土) 14時00分 ~ 17時00分 ■会場 静岡県産業経済会館 大会議室(ハイブリッド開催)



6月 2026

土
6

6月6日 @ 3:00 PM - 4:00 PM

令和8年度 第1回 臨床検査

■テーマ 「はじめての学会発表・症例報告」 ■日時 2026年6月6日(土) 15時00分

■テーマ 血液検査の基礎を学ぼう

■日時 2026年5月23日(土) 14時00分 ~ 17時00分

■会場 静岡県産業経済会館 大会議室(ハイブリッド開催)

■内容 詳細はこちらをクリックしてください(PDF)

■会費 静臨技会員・日臨技会員1,000円/賛助会員1,000円/非会員2,000円

■研修点数 生涯教育研修・一般教育研修課程:専門教科 20点

■担当連絡先 研修会事務局 山崎 啓介 (磐田市立総合病院)

TEL:0538 - 38 - 5000 (内線:2851) E-mail:x.10af7@gmail.com

土
13

■注目 6月13日 @ 1:30 PM

第13回静岡県医学検査

あざれあ 駿河区馬淵1丁目17-1 静岡市

■テーマ 「学びを力に、力を自信に!」 ■会場 県立総合医療センター 第1大会場 ■内容 詳細はこちらをクリック

詳細

日付:

5月23日

時間:

2:00 PM - 5:00 PM

サイト:

<https://event.menergia.jp/events/01Kk...BYMVRHH1>

主催者

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

会場

静岡県産業経済会館

電話番号

054-273-4330

[会場のウェブサイトを表示する](#)

参加したい研修会选择し、■内容 詳細のPDF からネメルジアへのイベント申し込み、または、詳細のサイト: URL からネメルジアへのイベント申し込みを行ってください。

皆さまに活用し易いホームページを目指しております。是非とも、ご活用ください。

肝炎総合対策の推進について

The screenshot shows the official website of the Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan. The page is titled "肝炎総合対策の推進について" (About the Promotion of Comprehensive Hepatitis Countermeasures). It includes a navigation menu with categories like "テーマ別に探す" (Search by theme), "報道・広報" (Press & Publicity), "政策について" (About Policy), etc. The main content area features a diagram titled "肝炎総合対策の概念図" (Conceptual Diagram of Comprehensive Hepatitis Countermeasures) and a "トピックス" (Topics) section with a list of recent news items. A sidebar on the right provides a "政策について" (About Policy) menu with various sub-categories.

厚労省は「肝炎総合対策の推進」を行っております。

[肝炎総合対策の推進 | 厚生労働省](#)



それを受け、静岡県も肝炎対策を行っております。

[肝炎対策 | 静岡県公式ホームページ](#)



肝炎検査の結果を一番先に確認する臨床検査技師である私たちに、何ができるか考えて行きたいと思えます。

肝炎対策の内容をご確認ください。

スタートアップ研修会開催報告

事業名	令和7年度 スタートアップ研修会
開催日	2026年2月28日（土）
会場	静岡県静岡市葵区七間町4-3 ARTIE 3階「Bolo」
参加人数	41名

内容

「学会発表の楽しさを知ろう！そして横の繋がりを作って帰ろう！」をテーマにスタートアップ研修会を開催し、県内各施設より41名の若手技師にご参加いただきました。

オリエンテーションでは、参加者同士が打ち解けられるようなゲームを行い、和やかな雰囲気の中で研修会がスタートしました。

講演では、静岡県立総合病院の村越大輝技師より「学会発表のすゝめ」と題してご講演いただきました。学会発表の意義や、発表を通して得られる成長・達成感について、実体験を交えながら分かりやすくご紹介いただき、参加者にとって学会発表をより身近に感じられる機会となりました。

レクリエーションでは、施設の垣根を越えた交流が行われ、若手同士が横のつながりを築く貴重な時間となり、今後の業務や学会活動への意欲向上につながる有意義な機会となりました。

静岡技組組織部では、今後も若手技師の成長を支援する企画を続けてまいります。



「推し活」—臨床検査技師として働き続けるための自己管理—

磐田市立総合病院 匿名希望

臨床検査技師の仕事は、正確さと集中力の積み重ねで成り立っている。日々の検査業務は一見淡々としているようで、その裏側には常に緊張感があり、小さな判断の積み重ねが医療の質を支えている。だからこそ、私たちは知らず知らずのうちに疲労やストレスを蓄積している。

そのような中で、近年よく耳にする「推し活」。好きなアーティストや俳優、キャラクターなどを応援する活動は、一見すると仕事とは無関係な個人的な趣味に思えるかもしれない。しかし実際には、これは極めて理にかなった「ストレスマネジメントの手法」と感じている。

推し活の最大の特徴は、「意図的に感情を動かすことができる」という点にある。日常業務では抑制されがちな感情を、ライブや映像、SNS などを通じて一気に解放することで、心理的なリセットが起こる。この「感情の解放」は、慢性的なストレス状態を断ち切るうえで非常に有効である。また、推しの存在は「楽しみの先取り」を生む。「次のライブまで頑張ろう」「新しい配信を楽しみに乗り切ろう」といった未来志向の動機づけは、日々の業務へのエネルギーを生み出す。

さらに、推し活は意外にも「自己管理能力」を高める。限られた時間の中で仕事と趣味を両立させるためには、時間の使い方を工夫し、メリハリをつける必要がある。結果として、業務時間中の集中力が高まり、生産性の向上にもつながる。重要なのは、推し活を「罪悪感のある息抜き」として扱わないことである。むしろ、自分のパフォーマンスを維持するために必要な「戦略的な回復時間」として位置づけるべきだろう。

臨床検査技師は、経験と継続によって価値を発揮する職種である。長く安定して働き続けるためには、自分自身の状態を整えることが不可欠であり、その手段は人それぞれでよい。

その一つとして、「推し活」という選択肢は十分に価値がある。

好きなものに全力で向き合う時間があるからこそ、仕事にも全力で向き合える。その循環が、結果として医療の質を支えていく。推しは、単なる癒しではない。明日の自分のパフォーマンスを引き上げる「原動力」である。

ということで、推し活を肯定するための言い訳(?)をして自己を納得させている。

研修会終了報告

事業名	令和7年度 第2回染色体遺伝子部門研修会
開催日	2026年2月7日
会場	Web会場 (Cisco Webex)
参加人数	21名
内容	<p>今回の研修会は、前回の研修会に引き続き、「がん遺伝子パネル検査」と「遺伝医療の臨床」をテーマに設定して講師の先生をお招きしました。</p> <p>今回のがん遺伝子パネル検査の講演は、造血器腫瘍のパネル検査ホームページについてでした。保険収載されて1年近く経過し、実際に院内の体制が整いつつある施設、既に出検した経験がある施設が増えてきた中での講演となりましたので、前回同じテーマで開催した1年前よりも、より具体的に検査フローのイメージが湧く講演だったと思います。</p> <p>第2講演では、浜松医科大学医学部附属病院検査部/遺伝子診療部の岩泉先生をお招きし、主に先生が行っておられる消化器系腫瘍の遺伝医療についてご講演いただきました。先生の豊富な臨床経験から、他の診療科と異なり家族全体にケアを広げていく遺伝医療の特徴、内視鏡を行った医師の気づきから稀少な消化器腫瘍の遺伝医療へと結び付ける連携事例など、遺伝医療というものの臨床における広がりを見ることができた講演でした。</p> <p>多くの臨床検査技師はまだまだ「遺伝医療」あるいは「遺伝学的検査」とは距離がある状況かと思えます。今回の研修会が、ひとりでも多くの方に遺伝医療について興味を持っていただけるきっかけになれば幸いです。</p>

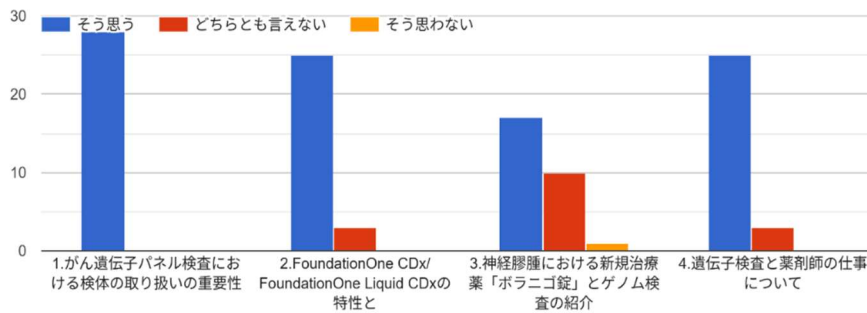
研修会終了報告

事業名	令和7年度 第3回病理細胞部門研修会
開催日	2026年2月14日
会場	Web会場 (Cisco Webex)
参加人数	31名

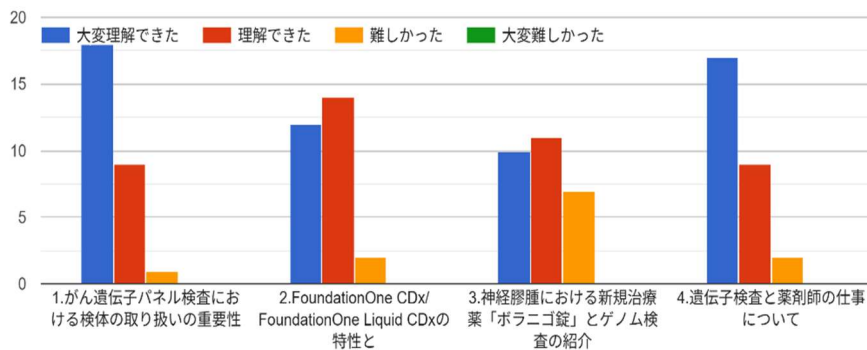
今回は「遺伝子」をテーマに4名の先生方にご講演いただきました。シスメックス株式会社 青山氏、中外製薬株式会社 松本氏には病理部門からがんゲノム検査を提出する際の注意点を、日本セルヴィエ株式会社 近藤氏、小川氏には神経膠腫における新規治療薬の有効性や脳腫瘍における分子病理学を、焼津市立総合病院 薬剤師 小野田氏にはがん遺伝子検査における薬物療法と薬剤師としてのお仕事の実際をご紹介いただきました。いずれも日々の業務に反映できる大変興味深い内容であり、有意義な学びの機会となりました。

内容

質問1 研修会の内容は興味・関心のあるものでしたか。



質問2 講義の内容はわかりやすかったですか。



研修会終了報告

事業名	令和7年度 第3回臨床一般部門研修会
開催日	2026年2月22日
会場	Web会場 (Cisco Webex)
参加人数	28人
内容	<p>静臨技会員の尿沈渣スキル向上を目的とし、事前に12/15～1/15の期間で実施したフォトサーベイの解説・報告会を実施した。</p> <p>血球類では、赤血球形態について正答率が50%を下回っていた。膜部顆粒成分凝集状脱ヘモグロビン赤血球を糸球体赤血球としての誤回答が多かった。</p> <p>上皮・異型細胞類では、異型細胞は90%近く回答できている一方、尿路上皮の集塊や、繊維型の尿細管上皮の正答率が70%であり、正常な細胞の判定についての判断が誤っている人が散見された。</p> <p>円柱類は、白血球円柱を出題したが50%以上が上皮円柱を選択してしまっていた。活動性の腎炎の人に見られることが多い成分なので、鑑別できるようになってほしいと思う。</p> <p>その他の成分では、キサンチン結晶（疑い）と糞線虫の設問で正答率が低かった。見慣れない成分のため正答率が低いと思われる。</p> <p>正答率が高かったのは、10問中6問であり、難易度が少し高かったと思われるが、各講師の解説を参考に日常業務で正しく鑑別できるように参加者には日々精進してほしいと思う。</p> <p>講演時間 ちょうどよい・・・27人 長い・・・1人</p> <p>研修内容について とてもわかりやすかった・・・18人 わかりやすかった・・・9人 普通・・・1人</p> <p>資格取得の意思 3年以内に受験したい・・・9人 取得済み・・・6人 資格取得の意思はない・・・13人</p> <p>一般検査経験年数 1年未満・・・3人 1年以上5年未満・・・14人 5年以上8年未満・・・3人 8年以上・・・8人</p>

研修会終了報告

事業名	令和7年度第2回 臨床微生物部門ハイブリッド型研修会
開催日	2026年2月28日(土) 14:00~17:00
会 場	静岡県男女共同参画センターあざれあ+Web会場(Webex)(事前登録制)
参加人数	41 人
内 容	<p style="text-align: center;">『テーマ』血液培養の見える化で変わる臨床判断</p> <p>【研修会内容】 国際的な人流が増加する現代では、国内外から多様な感染症が持ち込まれる可能性が高まっている。国際的マシガザリングによる感染症。症例提示と検査や対応について、また、血液培養を実施する目的と精度保証、ガイドライン、検査情報の整理・提供と臨床チームとの連携についての講演がありました。</p> <p>【講演1】『血液培養で検出されるかもしれない稀な菌』 講師: 静岡済生会総合病院 石田 和也 技師 感染症診断の最前線として、迅速かつ正確な検査と臨床判断の支援を行う役割を担う微生物検査技師が求められる。インバウンド増加を踏まえた患者背景・疫学情報、機器の限界を理解し、総合判断を行い、迅速に ICT との院内連携と情報共有、医療従事者・患者を守るための感染対策(暴露者対応)や感染症・検査技術など多くの知識をアップデートする必要性を学んだ。普段遭遇しない、病原体を考慮し厚労省、国立感染症センターや他施設との情報共有が重要である。</p> <p>【講演2】『血液培養の見える化が、行動を変える』 講師: 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 学術部 吉田 武史 氏 血液培養を行うべきとして適切な感染診療を行うため、菌血症の確定診断、感染症重症度の指標、起炎菌検出、適切な抗菌薬の選択。ガイドラインに基づいて実施することが目的となる。迅速な情報共有と「真の菌血症」の判断、血液培養ラウンドにおける専門的知見の提供、血液培養ラウンドにおける専門的知見の提供など多岐にわたる。検査室の中での菌検出に留まらず、血液培養ラウンドを通じて臨床現場へ能動的に介入することにより AST 活動全体のエビデンスの質を高める重要なポジションであり、迅速かつ専門的なフィードバックは、抗菌薬の適正使用を推進し、最終的に患者の治療アウトカムを最大化させるために不可欠である。</p>

令和8年度 第1回 輸血細胞治療部門 Web型研修会

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20 点

行事コード【260000873】

テーマ	令和8年度 第1回輸血細胞治療部門研修会
開催日時	2026年5月9日(土) 13時30分～16時00分
会場	Web会場 (Cisco Webex)
内容	<p>「認定輸血検査技師合格者からのアドバイス」 静岡県立総合病院 柴田 竜也技師 聖隷浜松病院 鈴木 健太技師</p> <p>～休憩～</p> <p>「ABO・Rh血液型とその検査への理解を高めよう」 バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社カスタマーケア本部 カスタマーサポート部部長 柿沼 幸利氏</p> <p>前半は2025年度認定輸血検査技師に合格された2名の方に講師をお願いし、合格者からの経験や心構えについて講演していただきます。 後半はABO・Rh血液型検査での異常反応への対応策等について解説していただきます。今後認定輸血検査技師を目指す予定の方はもちろん、輸血検査業務に携わる方や、輸血検査に興味のある方など多くの参加をお待ちしております。</p>
備考	<p>開始時刻5分前にはWebex招待メール本文中の「ミーティングに参加する」をクリックしてWeb会場に入場してください。 入場時には、マイクをミュート、カメラをオフをお願いします。</p>
申込・振込期間	2026年3月27日～2026年4月24日
申込定員	180名
申込方法	<p>1) 下記イベントURLをクリックすると参加申込画面に移行します。 2) メネルジアシステムから参加申し込みを行ってください。 ※ 申し込み方法の詳細については、静臨技HPをご参照ください。 ※ 参加費振込後の返金は致しかねますのでご了承ください。</p>
イベントURL	<p>https://event.menergia.jp/events/01KJE90DM11XKRPMY521TZYZ09 (イベントURLは申込期間中のみ開示が有効です)</p>
受講料	静臨技会員・日臨技会員1,000円/賛助会員1,000円/非会員2,000円
問い合わせ先	<p>輸血細胞治療部門 部門長 石戸谷 典明 (聖隷三方原病院) TEL: 053-438-2172 E-mail: ishidoya@sis.seirei.or.jp</p>
主催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

令和8年度 第1回 臨床血液部門ハイブリッド型研修会

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20 点

行事コード【260001223】

テーマ	血液検査の基礎を学ぼう
開催日時	2026年5月23日(土) 14時00分～17時00分(受付13時30分～)
会場	静岡県産業経済会館 大会議室+Web会場 (Webex)
内容	<p>1. PT・APTTのパニック値の考え方 ～ピットホールを含む、結果の解釈の仕方～</p> <p style="text-align: right;">シスメックス株式会社</p> <p>2. 血算の基礎 ～見方・考え方～</p> <p style="text-align: right;">伊東市民病院 臨床検査科 西原 亜美 技師</p> <p>今回は、新人さんから日当直にたずさわる人に向けて血液検査の必要な知識について講演いただきます。是非ご参加ください。</p>
備考	賛助会員、非会員の方で参加をご希望の方は下記問い合わせ先にメールでご連絡下さい。
申込期間	2026年4月1日～2026年4月30日
申込定員	100名(現地：50名 Web：50名)
申込方法	<p>1 メネルジアシステムへログインして事前参加登録をお願いします。</p> <p>※ メネルジアにログインし新規登録を行って下さい。</p> <p>※ 操作法については静臨技 HP をご参照ください。</p> <p>2) 下記イベント URL から参加申し込みを行って下さい。</p>
イベント URL	<p>https://event.menergia.jp/events/01KKT1G319XABV9F8Q6YMVRHH1</p> <p>(イベントURLは申込期間中のみ開示が有効です)</p>
受講料	静臨技会員・日臨技会員 1,000 円／賛助会員 1,000 円／非会員 2,000 円
問い合わせ先	<p>研修会事務局 山崎 啓介 (磐田市立総合病院)</p> <p>TEL：0538-38-5000(内線：2851) E-mail：x.10af7@gmail.com</p>
主催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

令和8年度 第1回 臨床生理部門 Web 型研修会

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20 点

行事コード【260000592】

テーマ	「はじめての学会発表・症例報告 完全攻略！ ～『何から始めればいいのか』を1時間で解決～」
開催日時	2026年6月6日（土） 15時00分 ～ 16時00分
会場	Web会場（Cisco Webex）
内容	<p>「学会発表を頼まれたけど、何から手をつければいいのか分からない…」 「自分のデータのまとめ方は、これで合っているの？」 「当日の質疑応答が怖くて一歩踏み出せない…」 そんな悩みを持つ臨床検査技師のあなたへ。本勉強会では学会発表の準備で初心者がまず知っておくべきポイントを1時間に凝縮してお伝えします！</p> <p>◆ こんな方におすすめ</p> <p>近いうちに初めての学会発表を控えている方 症例報告をまとめたいけれど、自信がない方 後輩の指導にあたる中堅技師の方（教え方の参考に！）</p> <p style="text-align: right;">講師：静岡県立総合病院 久住裕俊 技師</p>
備考	<p>開始時刻5分前にはWebex招待メール本文中の「ミーティングに参加する」をクリックしてWeb会場に入場してください。</p> <p>入場時には、マイクをミュート、カメラをオフをお願いします。</p>
申込・振込期間	2026年2月28日 ～ 2026年5月29日
申込定員	180名
申込方法	<p>3) メネルジアシステムへログインして事前参加登録をお願いします。</p> <p>※ メネルジアにログインし新規登録を行って下さい。</p> <p>※ 操作法については静臨技HPをご参照ください。</p> <p>2) 下記イベントURLから参加申し込みを行って下さい。</p> <p>3) 受講料の入金確認後、Webex招待メールを送信します。</p> <p>※ 振込後は返金対応できませんのでご注意ください。</p>
イベントURL	<p>https://event.menergia.jp/events/01KHSJA7HF0TCB2R7SBST381BE</p> <p>（イベントURLは申込期間中のみ開示が有効です）</p>
受講料	静臨技会員・日臨技会員 1,000円／賛助会員 1,000円／非会員 2,000円
問い合わせ先	<p>臨床生理部門 部門長 鈴木駿輔（静岡県立総合病院）</p> <p>TEL：054-247-6111 E-mail：shun0719s@gmail.com</p> <p>※参加証明書の発行を希望される方は、研修会終了後1ヶ月以内にご連絡ください。</p>
主催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

2026年4～6月の行事予定

2026年

4月

- | | | |
|--------|--------------|--------------|
| 8日(水) | 第1回精度管理委員会 | : Web |
| 11日(土) | 令和7年度会計監査 | : 静臨技事務所 |
| | 令和8年度学術部門長会議 | : あざれあ + Web |

5月

- | | | |
|---------|-----------------------|------------------|
| 9日(土) | 第1回輸血細胞治療部門研修会 | : Web |
| 12日(火) | 静岡県臨床検査精度管理調査試料 梱包・発送 | : 中北薬品 |
| 13日(水) | 静岡県臨床検査精度管理調査 | |
| ～29日(金) | | |
| 22日(金) | 第1回理事会 | : 静臨技事務所 |
| 23日(土) | 第1回臨床血液部門研修会 | : 静岡産業経済会館 + Web |

6月

- | | | |
|--------|-----------------------|--------|
| 6日(土) | 第1回臨床生理部門研修会 | : Web |
| 13日(土) | 静臨技定時総会・第13回静岡県医学検査学会 | : あざれあ |

☆ 会員投稿募集 ☆

技師会では会員の皆様の原稿を募集しています。ジャンル等は問いません。

※採用された方には粗品を進呈いたします。

ご意見・ご要望・情報等もお待ちしております。

渉外広報部（編集責任者）高橋詩帆まで。E-mail : kensaka.kna@shizuokakouseiren.jp

☆ 求人情報 ☆

（一社）静岡県臨床衛生検査技師会では、ホームページに求人情報の掲載を行っています。

求人情報掲載の申し込み方法等のお問い合わせ先

〒438-8550 磐田市大久保 512-3 磐田市立総合病院 久留島幸路まで。

E-mail : osigoto@samt.or.jp

TEL : 0538-38-5000

情報変更の手続き等について

新入会登録や、会員情報・登録施設情報（名称・連絡先）に変更がある場合、日臨技へ申請をお願いします。（日臨技HP；入会・退会・会員情報の変更参照）

責任者・連絡責任者・施設連絡用E-mailアドレスを登録・変更する場合、静臨技事務所へ連絡をお願いします。（静臨技HP；各種申請書を参照）

静臨技賛助会員入会申請 や、賛助会員情報（担当者・連絡先）に変更がある場合、静臨技事務所へ連絡をお願いします。（静臨技HP；賛助会員のご紹介ページの賛助会員登録申請書を参照）

お問い合わせ先：（一社）日本臨床衛生検査技師会 <http://www.jamt.or.jp/>

（一社）静岡県臨床衛生検査技師会（担当：組織部）

TEL : 054-287-6337 FAX : 054-287-4113 E-mail : samtjim@samt.or.jp

編集後記

皆さま、お疲れさまです。

先ずは、やっとホームページがリニューアルしました。ホームページを開くと、静岡県医学検査学会の開催スライドビューが目に入ります。静岡県は東西に広がっているので、富士山の形でどこからの富士山か皆さまわかるとおもいます。私は三島から見る愛鷹山を左に正面に宝永山がある富士山が大好きです。

県学会も多くの演題が集まってきております。実行委員長が嬉しい悲鳴を上げていました。皆さま、開催を楽しみにしていただき。コロナ禍以降自粛していましたが、完全対面型や会員同士の交流を図る意見交換会なども企画しております。先日、あざれあの大ホールの確認をしてきました。壇上から客席をみると、おー、広い！！ここで話したら気持ち良いだろうなーと思いました。

あっ、私のメダ活とガーデニングの近況を書かないと・・・もしかしたら、私の駄文を楽しみにしている方もいるかもしれませんよね。限りのある庭なので、春の水替えついでにメダカ桶を少し縮小、山野草エリアを作る計画をしています。雪割草の全盛期も過ぎ、今はスミレが咲き乱れています。宿根草達も続々と芽生えはじめ春の庭になっております。（高橋）

2026年4月吉日